

# 第68回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会

## 富山大会 開催趣意書

第68回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会が、令和2年8月6日（木）・7日（金）の2日間、富山県富山市で開催されます。本県での開催は昭和49年の第22回大会以来46年ぶり2回目となります。

全国高等学校家庭クラブ連盟は、昭和24年に発足、家庭科を学ぶ高校生を会員として組織され、「創造・勤労・愛情・奉仕」を基本精神としているところです。そして、各会員は学習成果を生かし、家庭や地域社会における生活の充実向上を目指して様々な活動に取り組んでおり、その活動は各方面から高く評価されています。

本大会は、全国の高等学校家庭クラブを代表するクラブ員、成人会長、顧問教師など約1,000人が参加し、日頃の研究や実践活動の成果を発表するとともに、情報交換などを通してクラブ員相互の交流を深めることにより、家庭科教育を一層推進することを目的として開催されます。

また、本大会は生徒の力で運営され、県内高校のクラブ員は大会準備から本番まで様々な形で大会の運営に参加しています。

今日の日本は、少子高齢化の進行、環境やエネルギー問題の深刻化など、解決すべき課題が山積しています。「誰一人取り残さない持続可能な社会」の実現のため、家庭や地域社会の現状を見つめ、生活・福祉の向上や社会貢献を目指して実践する生徒を育てていくことが重要です。

こうした中で、全国の高等学校家庭クラブ員が一堂に会し、優れた研究成果を共有し、よりよい社会生活の実現に向けて互いに研鑽を積むことは、大変意義深いことでもあります。

つきましては、上記の趣旨をご理解いただき、本大会が一層充実し、高校生の研究活動がさらに推進されますよう、特段のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年7月1日

第68回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会  
富山大会実行委員長 杉原 栄  
(富山県立桜井高等学校長)